



県平和委員会「軍事国家への道は許さない」学習会開催

危険な動きを食い止めるものは **憲法第9条!**

「平和かわら版」に「軍事国家への道は許さない」を昨年3月から11月の間、13回にわたって連載しました。それを一冊の本にまとめました。1月27日(土)の県平和委員会第2回理事会で初披露し、普及(250冊×100円)と各地域での学習会をお願いしました。

第1回「軍事国家への道は許さない」学習会は2月17日(土)、水戸共同ビルで開催し、オンラインも含め11人が参加しました。著者の国吉さんは62枚の資料を準備し、共有画面をクリックしながら「日本を守る」「統合防空ミサイル防衛構想」「安保3文書によって茨城はどう変わるか」の3点に絞って話しました。彼は、軍事史学会に所属していたこともあったのですが、新聞報道など「出て来る事実を組み合わせると見えてくるものがある」と述べています。

航空自衛隊のスクランブル(緊急発進)は、この3年間で1,000回を超えたと発表されているが、実際の領空侵犯は3回だった。報道は1,000回超を強調し、国民を不安すると「軍事」は誇張されたり、小さく見せたりしているとも語りました。

■今でも自衛隊は世界有数の軍事力

「日本を守る」という自衛隊は、世界有数の軍事力と操縦技術(戦闘機や潜水艦)を持っており、アメリカですら一目おく存在になっている。軍事力を測る物差しは「軍事費」「兵器の内容」「軍隊の力」「継戦能力」の4点。この4点か



▲著者の国吉さん

らから考察すると、ロシア・北朝鮮は、日本に侵攻する能力・意図はない、中国が台湾に攻め込むことは考えられない。

■「統合防空ミサイル防衛構想」

安保3文書の改訂(22年12月16日閣議決定)の特徴は①ミサイルの長射程化 ②基地の抗たん化 ③軍事国家体制 ④統合防空ミサイル防衛構想(ここが中心)。統合防空ミサイル防衛構想は米軍統合文書にもあり、「アメリカ本土とアメリカの国益を防衛」するのが目的。日本は、この構想に巻き込まれ、甚大な被害を受ける。または先制攻撃をしなければならないような状況に追い込まれる。

■「安保3文書によって茨城はどう変わるか」

戦争の継続・拡大する拠点となる。①武器・弾薬の補給ができる(土浦駐屯地と霞ヶ浦駐屯地) ②土木関係の機材・機器の補給ができる(勝田駐屯地と古河駐屯地) ③これらを運ぶ滑走路が2本ある(茨城空港) ④戦地で兵士が不足した場合に新たに徴用された者・民間人への教育もできる。

■危険な動きを食い止めるものは憲法第9条

「第9条があるうちは、ミサイル発射命令が出せない」が「仮に9条が改悪されたら、原子力基本法の改悪・軍刑法制度(軍刑法と軍法会議)の制定と続き、日本は戦争をする軍事国家となります」と、9条が持つ「軍事的意味」の重要性を強調しました。



「平和かわら版」1000号までもう少し

祝1000号!にエッセイ等をお寄せください!

「平和かわら版」は今号で第994号。4月25日付発行で1000号に達します。1000号を記念して、特集号を発行します。

400字以内で、「かわら版」のこと、平和運動の思い出など、また川柳、俳句、短歌、イラスト、似顔絵など自由に書いて投稿してください。掲載に際しては、県平和

委員会事務局で校正等することをご了承ください。

宛先 Fax 029-251-2806

Eメール i-peace877@silk.plala.or.jp

郵送 〒310-0912 水戸市見川5-127-281 平和会館内

締め切り 3月31日(日)



2/14
開催



自公の金権腐敗政治からの大転換を求める!

平和を求める総がかり行動

国の進路を決めるのは 私たち主権者だ!

「戦争法の廃止を求める茨城県連絡会」「茨城県平和擁護県民会議」など10団体が呼びかけた「2・14 平和を求める総がかり行動」には、平日のランチタイムにも関わらず水戸駅南口に約100人が集まりました。

「岸田政権による改憲反対」「パレスチナに平和を」などを求める横断幕を広げ、リレートークをおこないました。茨城厚生連労組(医労連)に所属する4人の女性は、「戦争NO」「GAZAに平和」のプラカードを掲げ、戦争の即時停止を表現しました。

県平和委員会の木村泉代表理事は、たくさんの方々の賛同金によって百里平和公園に「9条の碑」が建てられたことを報告。大きな拍手に包まれました。そして「タレントのタモリさんが“新しい戦前”と言い、この言葉を多くの人たちが実感を持って受け止めた。そう受け取った背景には岸田政権が“戦争する国づくり”を進めている現実がある。戦争は、地震や津波などのような自然災害ではない。私たちは主権者であり、国の針路を決める決定権は国民にある。戦争反対の声が、これからも大きな力を発揮する」と訴えました。

「5・3 憲法フェスティバル実行委員会」の田村武夫代表は、「今年の憲法集会では、新聞記者の望月衣塑子さんが“軍拡に突き進む岸田政権—民主主義を守るために私達がやれること”をテーマで話します。ぜひ、多くの方の参加を」と呼びかけました。



▲東京新聞HPより引用

岸田文雄内閣の支持率は25%(NHK調査)と、国民の信頼を全く失っています。前橋市長選では野党が支援した新人が当選したように、自公政治からの大転換を求める世論が高まっています。

昨年12月24日に続いて2回目となった「総がかり行動」は、さらに3回、4回と重なっていくことが期待されていることをひしひしと感じる集会となりました。

茨城県平和委員会第3回常任理事会のお知らせ

日時	3月30日(土) 午後1:30~4:00 ※オンライン併用
場所	水戸共同ビル2階 水戸市白梅3-13-8
内容	会員拡大、定期大会骨子など

高校生が被爆者
とともに描く
「原爆の絵」

新規複製にあたってプレミアムリターン付先行投資 「一口1万円」ご協力のお願い

よろしくお願
いいたします。



▲昨年の展示の様子(大洗)

この「原爆の絵」パネルは、被爆者の記憶に残る光景を、広島市立基町高校で「創造表現コース」を選択している生徒と、被爆の証言者等が共同で制作しています。昨年までに191点が作成され、広島平和祈念資料館から貸し出されています。

県平和委員会ではこれまでにこのうちの82点の画像をお借りして複製し、各地のパネル展に有料貸し出しをしてきました。作成から5年以上が経過し、経年劣化も見られることから今夏までにさらに100枚の新規画の複製を計画

しました。

しかし会の財政は「ひっ迫」の状況です。このための費用を工面することが難しく、みなさまに標記の先行投資を要請することとしました。意見広告の賛同金とは異なり、印刷を民間に発注する時には、所定の費用がなければ始められません。その意味で先行投資を呼びかけるものです。詳細は以下の通りです。

- 複製予定数: 100枚×2セット
- 費用1,500円/枚: 30万円
- プレミアムリターン: 投資一口につき4枚の貸出券を付与(貸出券1枚で複製画25枚を無料貸し出し)
- 投資期限: 3月末日
- 複製画完成予定: 6月末日

●新聞意見広告賛同者追加● 記載漏れのお名前を掲載します。大変失礼いたしました。【池田悦子さん】

「はみだしコラム」政倫審をたった5人で、しかも非公開だなんて、「どんだけ違法行為をやってきたか」を自ら認めているってことだ。拒否すればするほど悪質性を認識しているとバレルだけ。自浄能力、無し。政権交代するべき。byつくちゃん